

四年間の特集を振り返る

名古屋市立大学大学院人間文化研究科

(さかい・よしき)
阪井 芳貴

本『名古屋市立大学人間文化研究
所年報』の第九号の特集は、第六号
から第八号まで継続してまいりまし
た大学と博物館との連携および文化
財保護への大学の関わり方の追究と
いう大きなテーマに基づく特集の最
後を飾るものとなります。

すなわち、二〇〇九年度から本格
化したしました名古屋市立大学と名
古屋市博物館の連携事業をベース
に、本研究所も二〇一〇年度から年
間テーマを前述のごとく設定し、大
学と博物館の繋がりがから新たな街づ
くりと地域活性化のあり方を模索す
るとともに、大学の構成員（教職
員・学生）および市民が文化財保護
にどのように関わるべきかについ
て、実践的に検討する機会を設けて
まいりましたが、これを二〇一三年
度をもって一応の区切りとするもの
であります。そこで、少しこの四年
間の成果を振り返ってみたいと思ひ
ます。

二〇一〇年には、研究所主催講演
会・シンポジウムにおいて九州国立
博物館の三輪嘉六館長をお招きし、
氏が掲げられたモットー「市民と共

生する博物館」の実践について伺い、
併せて大学と博物館および地域社会
の連携について水谷栄太郎名古屋
博物館副館長（当時）と坂本喜樹瑞
穂通商店街青年部役員および本学山
田明教授をパネリストに意見交換を
おこないました。この講演会・シン
ポジウムの成果が、二〇一三年度ま
で研究所の活動を継続させる原動力
となったと言って過言ではありませ
ん。また、学生たちによる博物館で
のさまざまな活動の基盤づくりに研
究所が寄与できたことも特筆すべき
と考えます。

二〇一一年度の講演会・シンポジ
ウムは、同年三月に発生した東日本
大震災により甚大な被害を受けた文
化財に対するレスキュー活動につい
て学ぶ機会となりました。東北芸術
工科大学の藤原徹教授をお招きし、
東北地方における文化財レスキュー
の実際を伺い、シンポジウムでは瀬
川名古屋博物館学芸員と本学山田
明教授にも加わっていただき名古屋
市の文化財保護の現実的問題点につ
いて検討いたしました。

二〇一二年度には、日本のものづ

くりの拠点というこの地方の特性を
踏まえ、近代産業遺産の現況と今後
のありかたについて検討いたしました。
岡山理科大学の若村国夫教授に
日本とヨーロッパの産業遺産の文化
財としての保存のありかたについて
ご講演いただき、トヨタ産業技術記
念館の木村雅人氏と本学藤田栄史教
授を交えたシンポジウムで近代の文
化財の保存と継承について学びまし
た。

そして二〇一三年度には、本号に
収載いたしましたように、パブリッ
クアーケオロジー研究の第一人者で
ある松田陽氏をイギリスから招聘し
基調講演をいただき、併せて西澤泰
彦名古屋大学環境学研究所准教授、
村木誠名古屋市博物館学芸係長、本
学吉田一彦教授を交えてシンポジウ
ムを開催し、四年間継続してまいり
ました文化財の保護と継承、活用に関
する大学および博物館と地域を結
んだ検討を締めくくりました。

今後は、この四年間のプロジェクト
からの学びを、名古屋市立大学と
名古屋博物館、地域社会による連
携事業の実践の中で活かし、さらに
実証的に研究を進めることによつて
大学の地域貢献にも、また地域の活
性化にも、さらに学生への教育にも
資するところ大であろうと考えま
す。特に、本学人文社会学部が新たに

前述のように研究所の年間テーマとしてはひと区切りいたしますが、名古屋市博物館との連携事業は持続可能かつ、さらなる発展を目指して今後も継続されます。そこに、地域社会・市民が積極的に関わってくださることで、この四年間の意義があらためて評価されると思っています。そのために、本年報の第六号から第九号の特集記事が役立てられれば幸いに存じます。

2013年 第 名古屋大学 公開講座・シンポジウム
入場券 1,000円

現代社会における 文化財保護の新しいあり方 ー「バブリック・アークオロジー」の視点からー

日時
2013年
10月27日(日)
13時30分～17時

会場
名古屋大学 南山キャンパス
さくら講堂

講演者
バブリック・アークオロジーから
文化財保護への提言

講師：佐藤 誠 (University of St. Angeles 特任教授)

シンポジウムパネリスト
西澤孝彦氏 (名古屋大学 総合文化研究センター 教授)
村澤 誠氏 (名古屋大学 学芸員) 佐藤 誠氏
高田 正氏 (名古屋大学 学芸員)

会場：名古屋大学 南山キャンパス
さくら講堂

名古屋大学 人間文化研究所
〒467-8501 愛知県名古屋市中区昭和町4丁目7番1
TEL・FAX: (052) 872-3536 Mail: info@nagoya-u.ac.jp


